Technical Data Sheet

Shell Corena Oil RS 32

シェル コレナ オイル RS 32

ー高性能ロータリーコンプレッサー油ー

シェル コレナ オイル RS 32 は、高性能基油を使用したロータリー型コンプレッサー専用の潤滑油です。
シェル コレナ オイル RS 32 は、特殊な酸化防止剤、防錆剤などを配合してあり、従来に比べ、

(1)熱・酸化安定性がよく長寿命
(2)蒸発損失が少ないためオイル消費量が少ない
(3)水分離性に優れている

などの特徴を有した潤滑油です。

■シェル コレナ オイル RS の特徴

1. 熱酸化安定性に優れている

経済効率・作動の安定性などにとってオイル寿命の長期化は大切な課題です。シェル コレナ オイル RS 32 は、オイル使用時間の延長、オイル劣化によるトラブルの回避などを実現します。

2. 蒸発性が低い

高性能基油の特性によって蒸発性は極めて低くなりました。これにより、オイル消費の低減はもとより、圧縮機中のオイルミストを減らすなど、クリーンな環境を実現します。

3. 水分離性に優れている

水分離性に優れているため、ドレン切りが容易です。

4. 耐腐食性に優れている

5. 防錆性に優れている

シェル コレナ オイル RS 32 代表性状							
油種 ＼ 項目	密度 (15℃) g/cm^3	引火点 (開放式) ℃	流動点 ℃	色	動粘度 mm^2/s		粘度指数
					@40℃	@100℃	
シェル コレナ オイル RS-32	0.841	236	−30.0	L1.0	32	6.10	136

＊代表性状値は、商品の改定により、予告せずに変わる場合があります。(2011-09)

シェル コレナ オイル RS の販売荷姿 ： 200Lドラム　20L ペ-ル缶

■使用上の留意点

・ロータリーコンプレッサーは運転条件によっては潤滑油中に空気中の水分が凝縮しやすくなります。
水分の混入は酸化の促進など潤滑油や機器にとって好ましくありません。そのため、日常管理として起動前には必ずドレン抜きを励行して頂くようお薦め致します。

・機械および潤滑油を長持ちさせるため、新油をタンクに張り込む前に必ず装置のフラッシングを行ない、内部及び潤滑箇所を清浄にするとともに、使用中も異物が混入しないように機器のメンテナンスに充分留意してください。

・また、他銘柄との混合使用は油の性能低下をきたすことが考えられますのでできるだけ避け、止むを得ない場合は、時期をみて早めに一度全量交換することをおすすめします。

⚠ 取扱上の注意　▼下記の注意事項に従ってお取扱いください。

主用途	工業用潤滑油		
⚠ 注意 取扱上の注意事項	●目に入ると炎症を起こすことがあります。取り扱う際は保護眼鏡を使用する等目に入らないようにしてください。 ●皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。取り扱う際は保護手袋を使用する等、皮膚に触れないようにしてください。 ●ミストを吸入すると気分が悪くなることがあります。呼吸器具等を使用してミストを吸入しないでください。 ●飲まないでください(飲み込むと下痢、嘔吐します)。 ●容器から油を取り出すときは、必要に応じてポンプ等を使用して下さい。細管を用いて口で吸い上げないでください。 ●子供の手の届かない所に置いてください。 ●容器は切断・穴あけ・溶接等の加工、加熱及び加圧はしないでください。 爆発、引火等を起こすことがあります。	応急処置	●目に入った場合は、直ちに清浄な水で刺激がなくなるまで十分に洗浄したのち、医師の手当てを受けてください。 ●皮膚に触れた場合は、水と石けんで十分に洗ってください。 ●ミストを吸入した場合は、新鮮な空気の場所に移し、身体を毛布等で覆い、保温して安静を保ち、医師の手当を受けてください。 ●飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、直ちに医師の手当てを受けてください。
		廃油・廃容器の処置	●処理方法は法令で定められています。法令に従い適正に処理してください。不明な場合は購入先にご相談の上処理してください。
		保管方法	●ゴミ、水分などの混入防止のため、使用後は密栓してください。 ●直射日光を避け暗所に保管してください。

A-5-1